



# 学校通信

平成30年度 第1号  
平成30年 4月 6日  
練馬区立開進第三小学校  
校長 岡部 良美

## 「よいところみつけ名人になろう」

校長 岡部 良美

咲き誇る桜の花と校庭の人工芝の緑のコントラストが、一年のスタートにふさわしいさわやかさを醸し出しています。4月5日(木)に新六年生が新年度の出発の準備に登校し、学校のリーダーとして大活躍でした。こちらが頼みたいことを察知して率先して動く頼もしい六年生です。そして今日、すべての学年の子供たちが元気に笑顔で登校し、学校に活気がみなぎる躍動感のある春になりました。

お子様のご入学・ご進級、おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。練馬区立開進第三小学校の平成30年度、開校86周年の教育活動が始まりました。一年生110名、二年生123名、三年生103名、四年生108名、五年生108名、そして六年生は106名の全児童658名でスタートをいたしました。今日の新たな出会いを大切に、子供たちが充実した日々を過ごせますよう、開三小職員一同、全力を尽くしてまいります。

人事異動があり、新しい職員組織となりました。どの教師も指導力・授業力の向上を目指し、努力する所存です。もし何かご不明な点、ご心配なことがございましたら、いつでもご連絡、ご相談ください。保護者・地域の皆様との十分な連携の下、よりよい教育を進めていきたいと考えております。

4月6日の始業式・入学式の日、私は子供たちに、開三小の1年間のめあては、『よいところみつけ名人』になろうと伝えました。この意味は「自分のよいところ」も「友達のよいところ」も見付ける名人のことです。一日必ず1つ、自分のよいところ、できたこと、頑張ったこと、そして、友達のよいところ、頑張っているところ、やさしくしている・してくれたところなどを見付けましょうと話しました。

「自分で自分のよいところが分かる」、「友達によりよいところを認めてもらう」ことは、子供一人ひとりの自信に繋がると思います。それに伴って、友達など他を受け止め、受け入れる、対話・協力する行動にも繋がると考えます。開三小は650名を超える子供たちが集う学校です。お互いのよさが分かっている、自分のことが分かってもらえると思えば、安心して学校生活が送れます。学校生活の中で友達と仲良くすることはもちろん、安心感の中で暮らせれば、学習においても間違うことを恥ずかしがらず、一生懸命考え判断し表現するなど、個性と能力を発揮できる環境になると確信しています。そして、これからのグローバル化の時代にも、主体的・対話的に行動できる大人に成長することでしょう。

私は、いつもペンを首に提げています。子供たちと共に『よいところみつけペン』と名付けました。これから『よいところみつけペン』を走らせて、子供たちのよいところを記していきたいと思えます。

そして、『子供一人ひとりに、誇りと自信を持たせる学校』にしていきたいです。

